

○ チャンギ空港第3ターミナル建設チーム

[清水建設㈱]

代表者 いん どう まさ ひろ
印 藤 正 裕 （清水建設㈱ 建設所長）

メンバー 38名（清水建設㈱ 38名）

シンガポール／チャンギ空港は24時間オープンで、国際線の乗り継ぎ客が待ち時間を快適に過ごせることをコンセプトに、世界NO.1空港として多くの受賞があり、顧客満足度も世界トップレベルを維持している。このような背景下、本件では、多くの厳しい顧客要求条件（海外労働者数の雇用制限、複雑な手荷物搬送システムの調整、大規模な設計変更等）が課せられたが、同社のエンジニアリング力を駆使した合理的工法の開発等により克服した。

メインターミナルの屋根建設では、大型クレーンを使わずに、モジュール化による「リフトアップ工法」により長さ215m、高さ4.4m、最大スパン60mの大鉄骨トラス20本を施工し、ゆったりとした明るい空間デザイン（天井高16.2m、919個の天窓等）実現のために「マジックカーペット」（多機能自動式吊足場）を考案して施工する等、数々のユニークなエンジニアリングにより、延床面積55万m²（東京ドーム40個分）、全長1,350mの巨大ターミナルを無事建設し、工期を達成した。

本件は日本エンジニアリング産業の実力を国際玄関において示すものであり、高く評価する。

